

種別別明細書(増加資産・全資産)の書き方(記入例)

【資産の名称等】
資産の名称及び規格等を記入してください。
市でデータ登録する名称となりますので、名称等が同じ場合でも「同上」や「〃」などは記入しないでください。

【取得年月】
取得した年月を記入してください。
なお、年号については
明治:1、大正:2、昭和:3、平成:4、令和:5
とし、それぞれの年号に対応する数字を記入してください。

増加資産のみを
記入する場合は
「増加資産」を
全資産を記入する
場合は「全資産用」を
〇で囲んでください。

【取得価額】
当該資産の取得価額を記入してください。
取得価額は、償却資産を取得するために支出した金額をいいます(引取運賃、荷役費、運送保険料、購入手数料、関税、据付費等の附帯費用も含む)。
取得価額における消費税の取扱いは、原則として国税の取扱いの例によって算定します。
したがって、税込経理方式を採用している事業者は消費税を取得価額に含め、税抜経理方式を採用している事業者は消費税を取得価額に含めないものとします。

【耐用年数】
当該資産に適用する
耐用年数を記入して
ください。

種別別明細書(増加資産・全資産)の
総ページと
そのうち何枚目であるかを記入して
ください。

【資産の種類】
1: 構築物
2: 機械及び装置
3: 船舶
4: 航空機
5: 車両及び運搬具
6: 工具、器具及び備品
該当する数字を記入してください。

【増加事由】
1: 新品取得
2: 中古取得
3: 移動による受け入れ
4: その他
該当する数字を〇で囲んでください。

【摘要】
下記に該当する資産については、
例示のように記入してください。
・申告もれの資産
「申告もれ」
・市外から移動してきた資産
「〇〇市より〇年〇月 移動」
・特例・非課税の資産
適用条項を記入「第〇条の〇項」
・その他必要な事項

令和 ○ 年度		種別別明細書(増加資産・全資産用)										所有者名		枚のうち						
所有者コード		福津 太郎										1 枚目								
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額			耐用年数	価額	課税標準の特例	課税標準額	増加事由	摘要				
					年号	年	月	十	百	千							円			
01	1		カフェ福津 給排水設備工事一式	1	5	0	3	0	5	2	250	000	1	5	0	1	2	3	4	
02	1		カフェ福津 衛生設備工事一式	1	5	0	3	0	5	3	250	000	1	5	0	1	2	3	4	
03	1		駐車場アスファルト舗装工事	1	5	0	3	0	5	5	100	000	1	0	0	1	2	3	4	
04	6		パソコン	1	5	0	3	0	8	250	000	0	4	0	0	2	3	4		
05	6		エアコン	1	5	0	2	0	2	120	000	0	4	0	0	3	4	〇市より〇年〇月移動		
06	6		冷蔵庫	1	5	0	2	1	1	300	000	0	6	0	0	1	2	3	4	申告もれ
07																				
08																				
09																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				
小計										11	270	000								

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受け入れ、4 その他 のいずれかに〇印を付けてください。

【記載上の注意点】
○印字している内容に変更がある場合は、抹消線を引き、余白に正しい内容を記載してください。
○該当資産がない場合、「種別別明細書」の提出は必要ありません。
○別紙「償却資産申告書」を併せて提出してください。